



高齢者にLINEの登録方法を教える鶴巻さん。サービスの利用は「こまいぬ」専用番号☎050・6872・7921まで

スマホに不慣れな人にもペースを合わせて丁寧に教え、もしもの時に困る人がいない社会をつくりたいです。いただいた寄付はスマホの使い方を紹介する動画の制作などに活かします。ご支援をお願いします！

▶寄付はこちらから。11月22日(月)まで



高齢者の孤立防止へ
スマホ教室を開催
学生団体「こまいぬ」
代表 鶴巻力哉さん

ふるさと納税で 地域づくり団体を応援しよう！

国ながおか魅力発信課☎39・5151

市は、ふるさと納税型クラウドファンディングを活用し、地域課題の解決に取り組み団体を支援します。第1弾として、公募により長岡工業高等専門学校(学生団体「こまいぬ」)への支援が決定。クラウドファンディングによる寄付を受け付け中です。

「こまいぬ」は高齢者が災害時などに孤立することを防ぐため、スマートフォンアプリの使い方などを教えます。

寄付は市民を含め、全国から可能。ぜひ家族、友人にもご紹介ください。

第2弾

ふるさと納税で資金調達 地域づくり団体募集

対象 地域課題を解決するための事業
補助額 次のいずれかの低い額(100万円~250万円)
①対象事業に係る費用
②クラウドファンディングを利用して集まった額から手数料を差し引いた額
申し込み 9月17日(金)まで



▲詳しくはこちら



▲インタビュー形式で相手の希望や課題を探る阪之上小学校の4年生(7月7日)

相手の希望をかなえるには？

小学校で アイデア力を 養う授業



米百俵
デジタル
コンテスト

国ながおか・若者・しごと機構☎86・6008

コンテスト 作品募集 小学生の“夢”をかなえるアイデア

子どもの暮らしを豊かにするアプリなどの提案を募集します。授業や公募で市内の小中学生から寄せられた約700件の「ひみつ道具」のアイデアはホームページで公開中。参考にご覧ください。

対象 平成9年4月2日~平成21年4月1日生まれの人
募集期間 11月1日(月)まで



▲詳しくはこちら

昨年度のグランプリ作品「なぞなぞソープ」。手洗いに必要とされる30秒間にクイズが出題される仕掛けです。



グランプリは小学生の投票で決定！

人材育成や未来への投資を行う「新しい米百俵」。その一環で、若者の挑戦と学びの場を提供する「米百俵デジタルコンテスト」を開催しています。2年目の今年、子どもたちの発想力の向上にと、市内3校の小学校でアイデア出しの授業を行いました。児童は2人1組で、「遊び」をテーマに困りごとや「あったらいいな」を聞き取り、課題を発見し、解決するアイデアを発表しました。相手の希望をかなえるには「たくさん質問し、相手の立場に立つて考えること」が大切だと学びました。

オレンジカフェ世話人・神保さん(左) 認知症の人と接するときも、相手を思い、寄り添う気持ちがあれば大丈夫。周りの人は、「あの人は認知症だから」と抵抗感を持たず、気軽に接してほしいです。

母親を介護する木村和子さん(右) 介護する人同士が顔を合わせ、交流できる機会は本当に貴重です。オレンジカフェなどで同じ境遇の人と話し、共感し合えるだけで救われることもたくさんありました。

約10年前に認知症と診断されたはなさん 散歩や体操が今でも日課。文句ばかり言うてしまうけど、いつも見てくれる娘には本当に感謝してるんです。



認知症の人や家族などが集う「オレンジカフェ」で出会い、5年以上交流がある神保みゆきさんと木村さん親子。思い出話に花を咲かせていました(8月10日)

大切な人との幸せのために 認知症、正しく知ろう

国長寿はつらつ課☎39・2268

認知症は脳に障害が起こり、日常生活に支障が出ている状態をいいます。ただ、認知症になったら全ての人がすぐに記憶をなくしたり会話ができなくなったりするわけではなく、症状は人それぞれです。新型ウイルス禍、理解さらに深めて

新型コロナウイルスの影響で人と交わる機会が減る中、高齢者の認知機能の低下が懸念されています。認知症は予防が大切なのももちろん、周囲の人の正しい理解や相手に寄り添う気持ちが必要で、適切な医療ケアなどを受けることで、認知症の人も住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができます。気軽に同じ境遇の人と交流や相談ができる「オレンジカフェ」などの利用もおすすめです。

●認知症の相談は「包括」へ
地域包括支援センター(包括)は、高齢者の相談窓口です。お近くの包括は高齢者基幹包括支援センター(☎89・7440)や市ホームページで。

～9月は世界アルツハイマー月間、高齢者見守り強化月間～

認知症地域フォーラムin長岡「笑顔で生きる～認知症とともに生きる～」

オンラインでの講演会です。
☎10月11日(月)午後1時30分~2時30分 場リリックホール 国認知症当事者ネットワークみやぎ代表理事・丹野智文さん 定200人(先着)
☎9月10日(金)から長寿はつらつ課へ電話、FAX39・2603、Eメールhatsuratsu@city.nagaoka.lg.jp(住所、氏名、電話番号、「10月11日フォーラム聴講希望」と記載)で

オレンジカフェ

認知症の人や家族などが集い交流する場で、市内に13カ所あります。開催日時や場所など詳しくは市ホームページで。



▲自宅を出にくい人も参加できるようにオンラインも活用

市民セミナー「元気なうちから、もしものときのことを考えておこう」

☎9月29日(水)午後2時~4時 場中央図書館 講長岡赤十字病院医師・佐藤直子さん 定50人(先着)
☎長寿はつらつ課

認知症サポーター養成講座

認知症の症状や対応を学びます。受講者には、新潟アルビレックスBBと制作した「認知症ブスターカード」(写真)を渡します。

☎①9月20日(祝)午後3時~4時30分②27日(月)午前10時~11時30分 場①まちなかキャンパス長岡②さいわいプラザ 定各20人(先着) ☎9月6日(月)から長寿はつらつ課へ



※☎・場などの略字の見方は17ページへ